

地域包括ケア「見える化システム」を活用した地域分析

江東区福祉部介護保険課

2019年

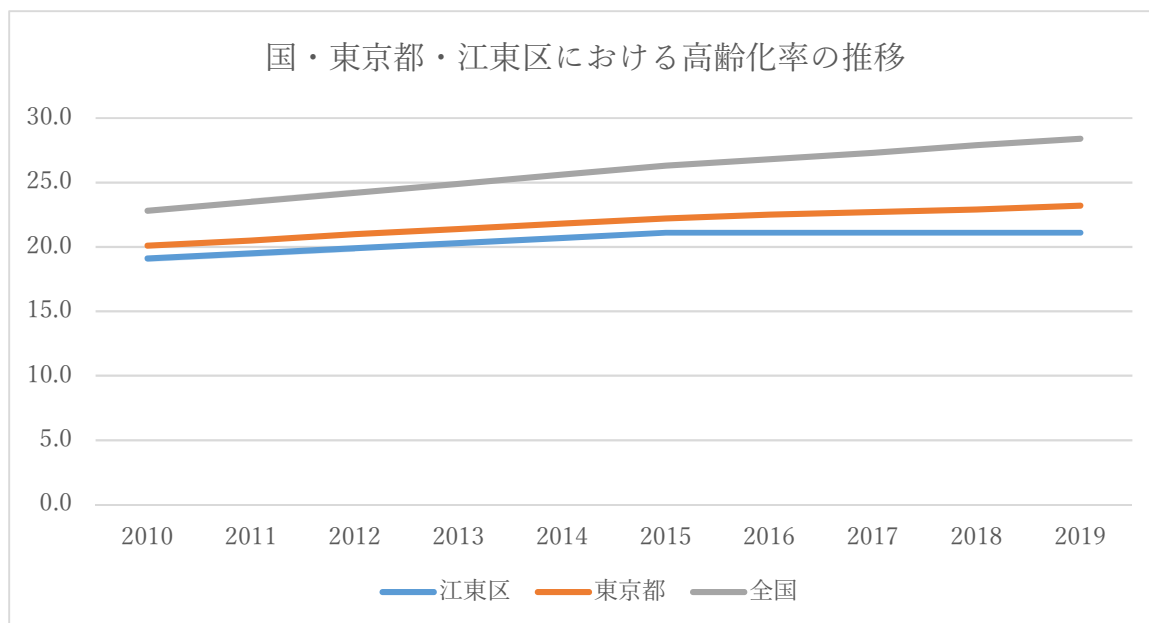
見える化システムとは？

地域包括ケア「見える化」システムは、厚生労働省が運営する、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。

見える化システム利用の主な目的は、以下のとおりです。

- 地域間比較等による現状分析から、自治体の課題抽出をより容易に実施可能とする
- 同様の課題を抱える自治体の取組事例等を参照することで、各自治体が自らに適した施策を検討しやすくする
- 都道府県・市町村内の関係者全員が一元化された情報を閲覧可能となることで、関係者間の課題意識や互いの検討状況を共有することができ、自治体間・関係部署間の連携が容易になる

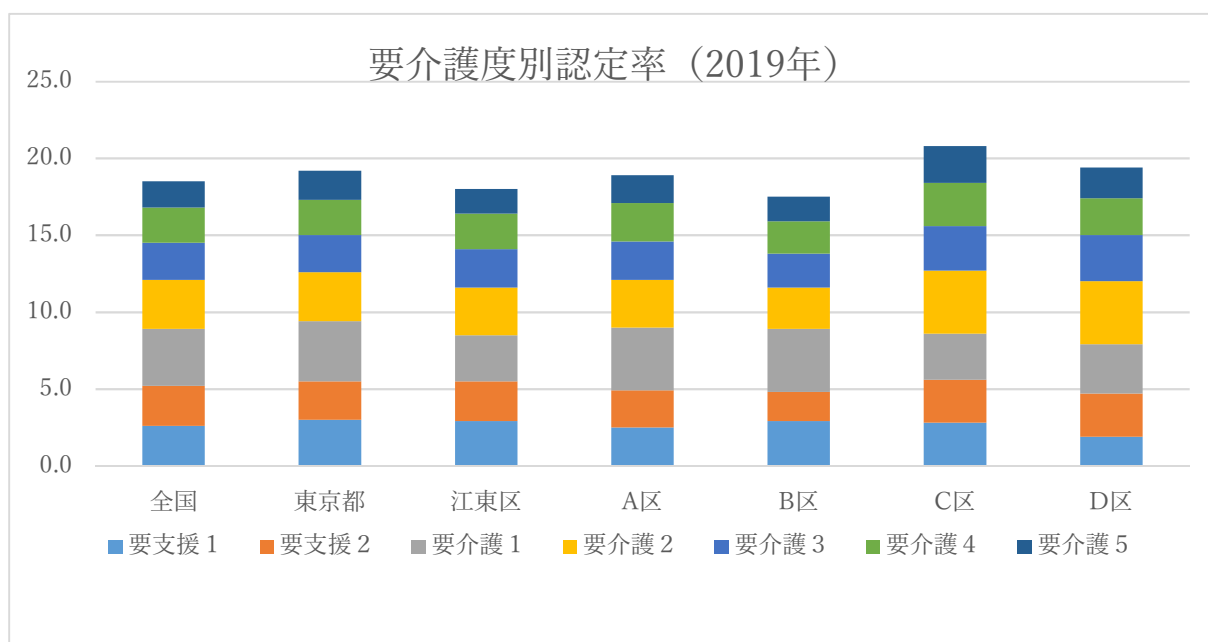
1. 高齢化の推移について



出典 2015年・総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

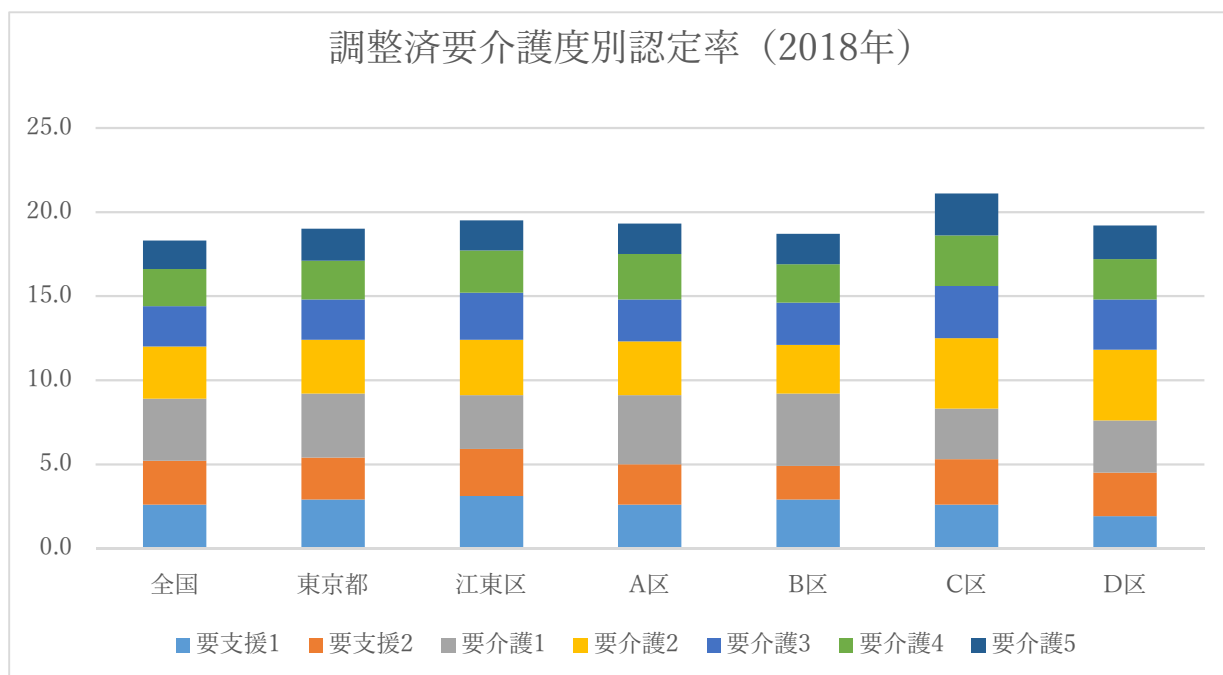
高齢化率とは、65歳以上の人口が総人口に占める割合のことです。江東区の高齢化率は21.1%と高い割合ですが、全国平均、東京都平均と比較すると、やや低い割合となっています。

2. 要介護認定率について



出典 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

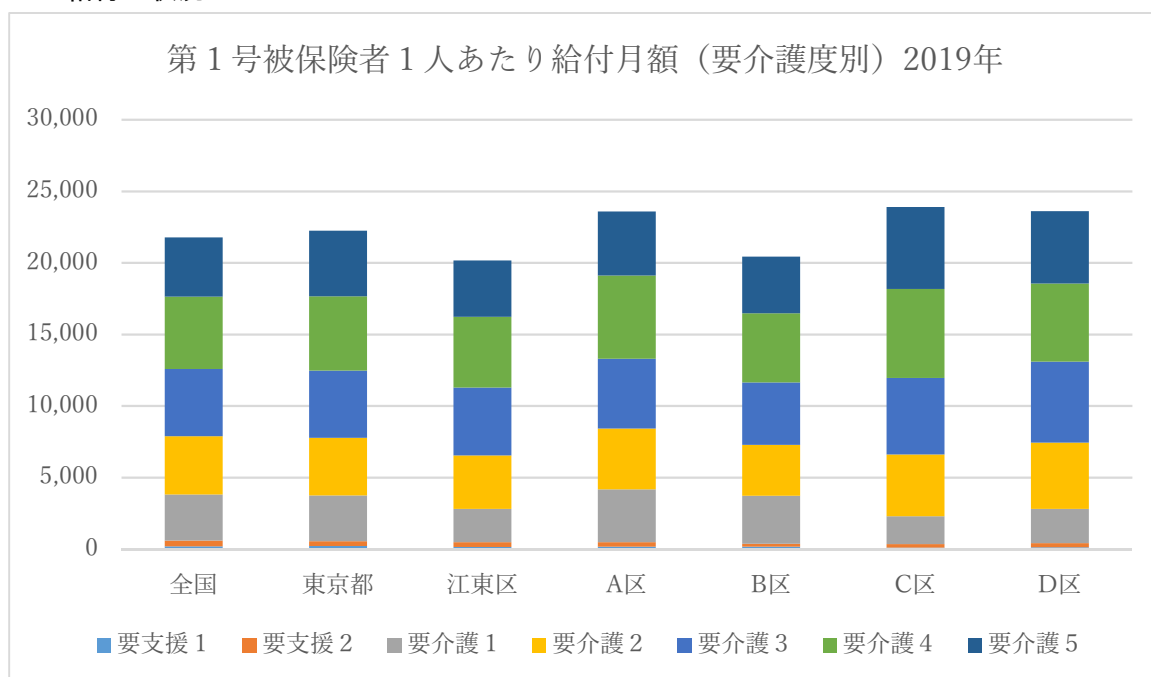
認定率とは、要介護認定を受けている方が第1号被保険者に占める割合を指します。江東区の認定率は、全国、東京都の平均より低く、近隣各区の中でも比較的低い水準です。ただし、認定率は加齢によって上昇する傾向があり、前期高齢者（65～74歳）と後期高齢者（75歳以上）では差が生じます。このような年齢及び性別の影響を補正した、調整後認定率は、以下のとおりです。



出典 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

調整済認定率のデータは、平成 30 年分が最新データとなります。江東区は、全国及び近隣区と比較して、高齢者の中でも前期高齢者（65歳～75歳未満）がやや多いため、この影響を補正した調整後認定率は、全国・東京都の平均より高く、近隣区の中でもおおむね中位程度となっています。

3. 給付の状況について

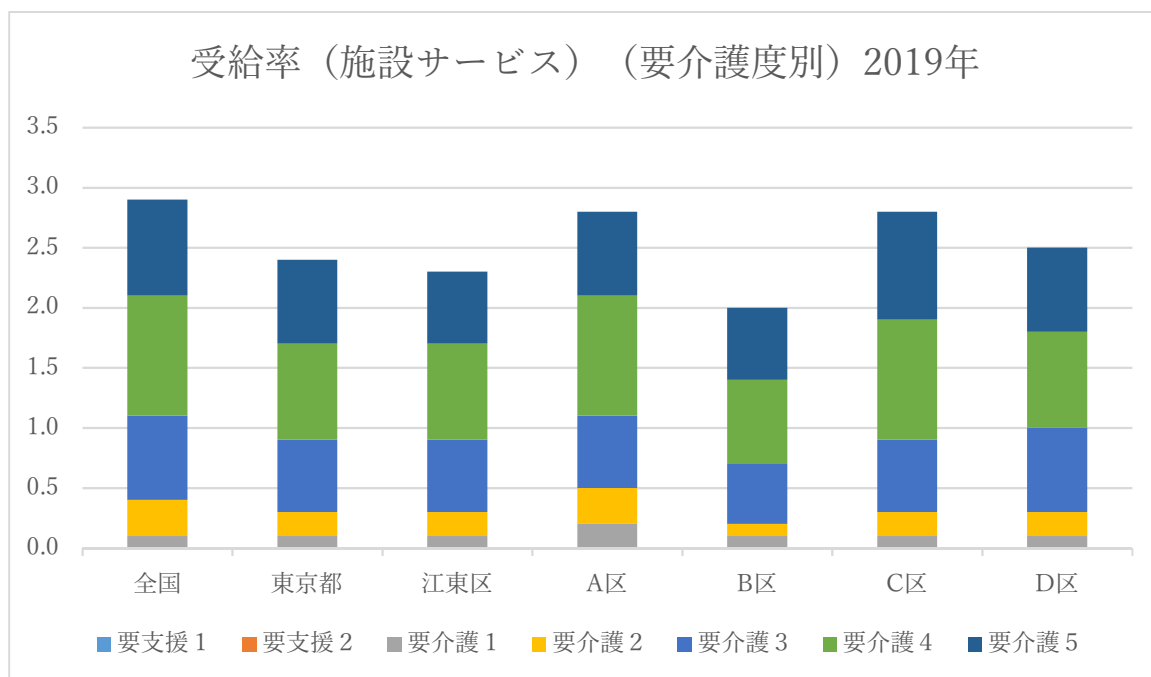


出典 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成 30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

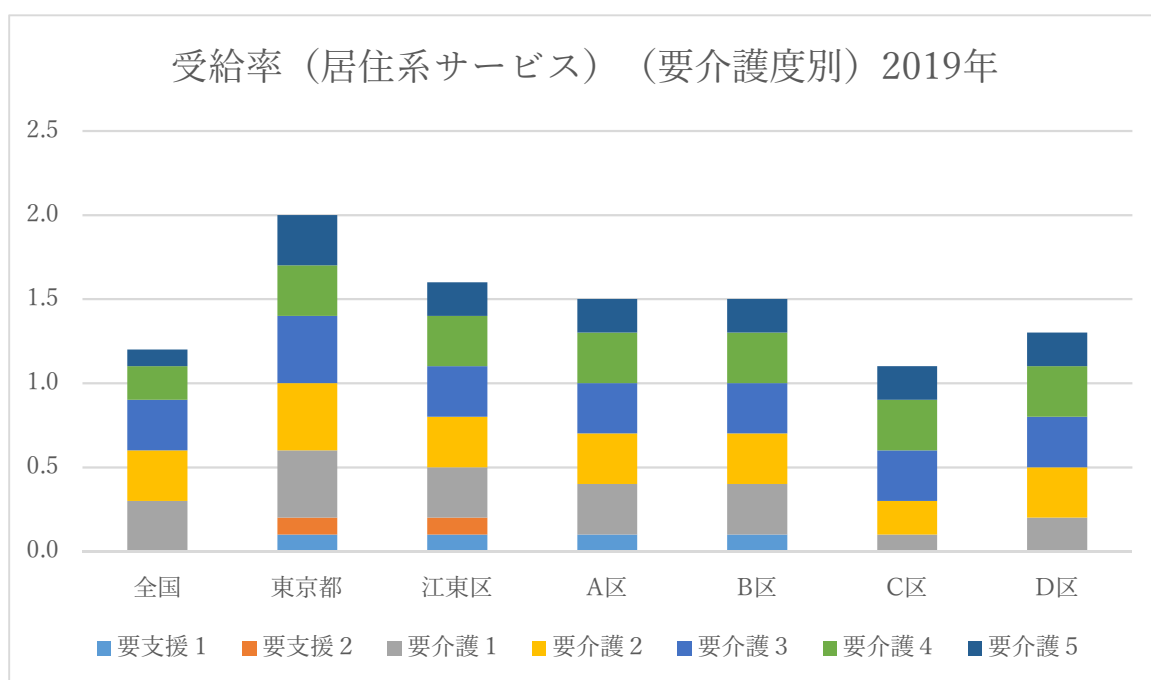
江東区における第 1 号被保険者 1 人あたり給付月額は、全国、東京都平均より低く、近隣区の中でももっとも低額となっています。

4. 受給率について

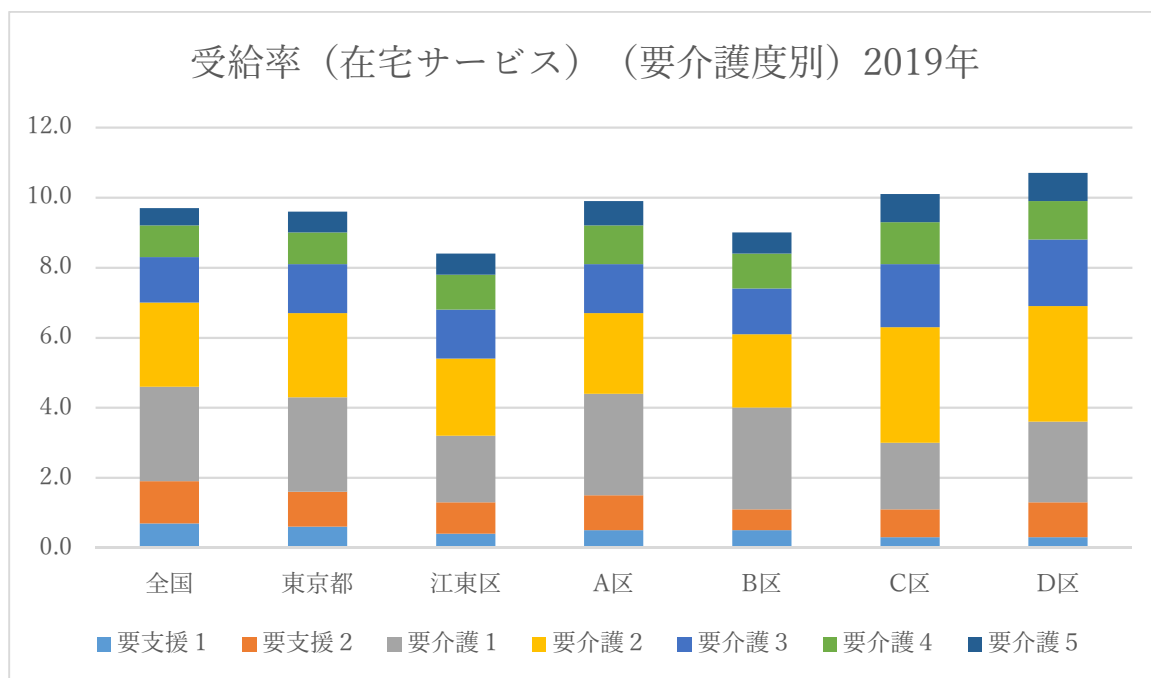
「受給率」(年次) は、当該年度の介護サービス受給者数の最新月までの平均数を、第1号被保険者数で割った数値です。施設サービス、居住系サービス、在宅サービスの3つに分けられています。



出典 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



出典 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



出典 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

ー施設サービス、居住系サービス、在宅サービスとは？ー

施設サービス…介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院。

居住系サービス…特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護。

在宅サービス…訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護（介護老人保健施設）、短期入所療養介護（介護療養型医療施設等）、短期入所療養介護（介護医療院）、福祉用具貸与、福祉用具購入費、住宅改修費、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護。

※利用者の重複カウントを防ぐため、介護予防支援・居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の3サービスの受給者総数の総計を概数として利用

施設サービス及び在宅サービスについては、江東区の受給率は国、東京都の平均より低く、近隣区の中でもおおむね低くなっています。居住系サービスについては、江東区の受給率は東京都平均よりは低いものの全国平均よりは高く、近隣区の中でももっとも高くなっています。